「三角形の相似条件」

言い方や合同条件との違い・証明問題例を紹介

「相似な図形」の解説ページでは、「相似な図形」とは、同じ形のまま拡大や縮小した図 形だということを学習したね。

それでは、2つの三角形が「相似な図形」かどうかを判断するには、どういうところに注 目すればよいのかな?

結論からいうと、2つの三角形が「相似な図形」であるためには、下の3つの条件があっ て、どれかIつの条件を満たしていれば、その2つの三角形は相似な図形だということが

三角形の相似条件

できるんだ。

- ・3組の辺の比がすべて等しい
- ・2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい
- ・2組の角がそれぞれ等しい

この3つの条件について、ひとつずつ「どういう条件なのか」を紹介していくよ。

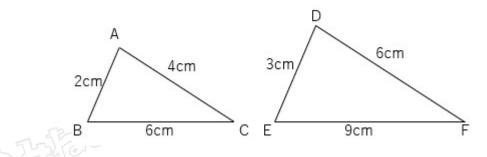
3組の辺の比がすべて等しい

まずひとつめの条件「3組の辺の比がすべて等しい」。

どういうことかというと、2つの三角形があったとき、その2つの三角形同士の辺の比 (ひとつは2cmで、もうひとつは4cmだから1:2になっているなど)が、3つの辺す べての組み合わせで同じ比になっている、ということなんだ。

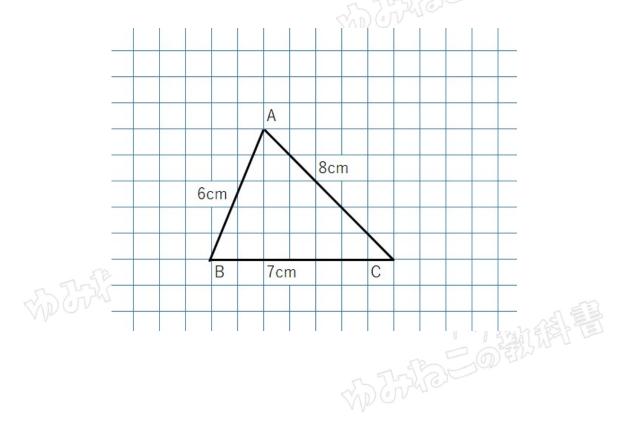


たとえば下の2つの三角形の3組の辺の比はすべて2:3になっているから相似といえる よ。



でもなぜ、3組の辺の比がすべて等しいと、相似ということができるのだろう。

たとえば、次のような三角形を考えてみよう。



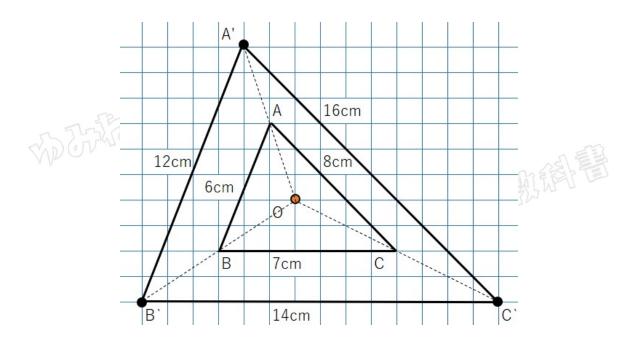


A' A' A 16cm 12cm 6cm 6cm 6cm C'

すべての辺の長さを2倍してみよう。すると次のような三角形A'B'C'になるよ。

△ABCと△A'B'C'この2つの三角形は相似になるか考えよう。

以前学習した「相似の中心」の考えを使って、相似の中心と対応する点を結ぶと次のよう になるよ。



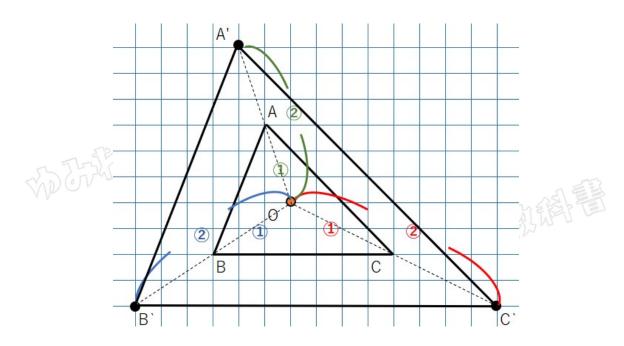


この図をみると、 OA:OA'=I:2 OB:OB'=I:2 OC:OC'=I:2

になっているから、2つの三角形は「相似の位置にある」といえるよね。 「相似の位置にある」と呼ぶための条件は覚えているかな?

「相似の位置にある」と呼ぶための条件 ・2つの図形の対応する点を結んだ直線が相似の中心で交わる ・相似の中心から対応する点までの距離の比がすべて等しい

2つの図形の対応する「点ABC」と「点A'B'C'」を結んだ直線が相似の中心で交わっているよね。そして、相似の中心から対応する点までの距離の比はすべて1:2で等しいよね。



だから、この2つの図形は「相似の位置にある」ね。

「相似の位置にある」ということは、つまり2つの三角形は「相似な図形」ということが できるよね。



相似条件①「3組の辺の比がそれぞれ等しい」

2つの三角形の対応する3組の辺の比が、すべて同じ比になっているということ

【たしかめ】

3つの辺の長さを2倍にする(3組の辺の比が、すべて1:2になる)

→2つの図形の対応する点を結んだ直線が相似の中心で交わる

→2つの図形は相似の位置にある(つまり相似である)

3組の辺の比が全部同じになっていたら、2つの三角形は相似になるってことだね。

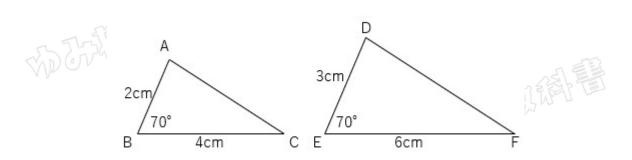
2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい

2つめの条件「2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい」。

とういうことかというと、2つの三角形があったとき、その2つのあ三角形同士の辺の比 が、2組同じで、さらにその2組の辺の間の角度の大きさが同じになっている、というこ となんだ。

たとえば下の2つの三角形の2組の辺の比は2:3になっていて、その間の角度は70° になっているよね。

だからこの2つの三角形は相似といえるよ。

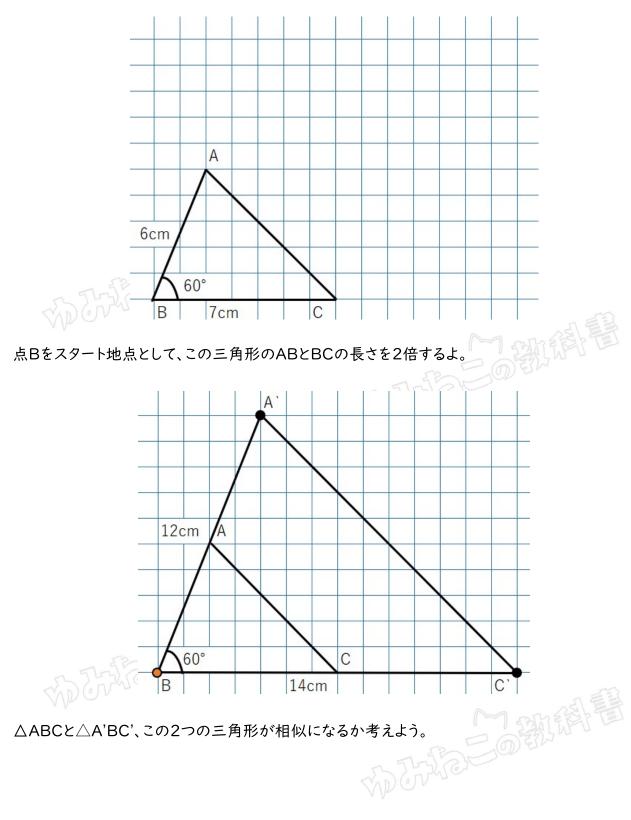


でもなぜ、三角形の2組の辺の比が等しく、その2組の辺の間の角度が同じだと相似であ るといえるのだろう。

たとえば、次の三角形を考えてみよう。

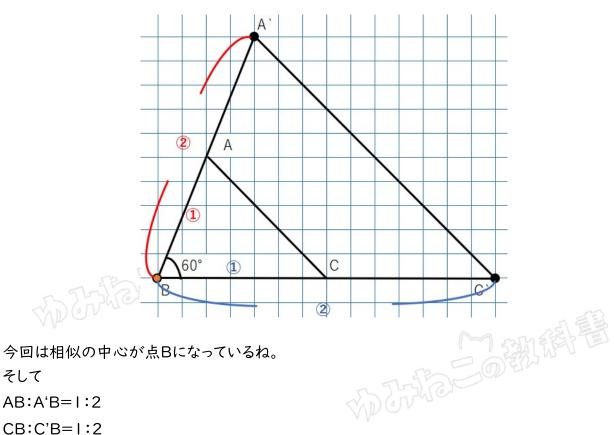


ゆみねこの教科書





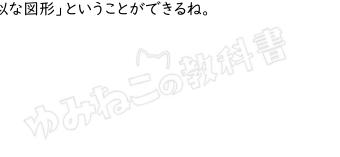
ゆみねこの教科書



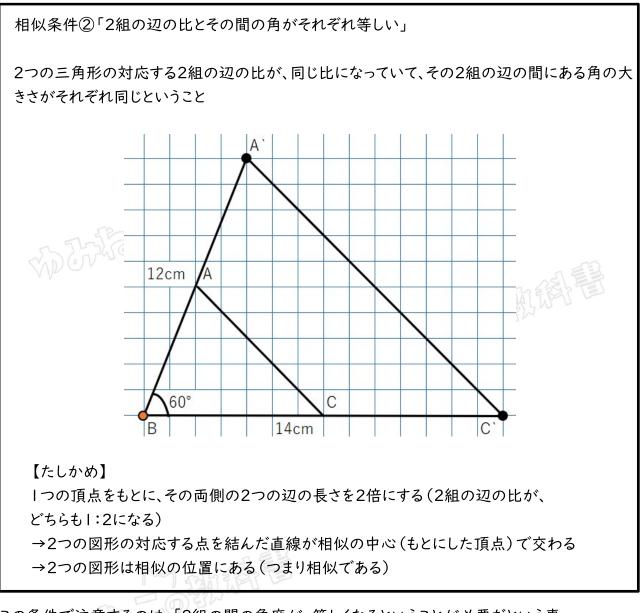
CB:C'B=I:2

になっているね

相似の位置にあると呼ぶための条件は、2つの図形の対応する点を結んだ直線が相似の中心で 交わることだから、この2つの三角形ABCとA'BC'は「相似の位置にある」といえるよね。つまり「相 似な図形」ということができるね。







この条件で注意するのは、「2組の間の角度が」等しくなるということが必要だという事。 W The States

なぜなら、2組の間の角度が相似の中心になっているからだね。

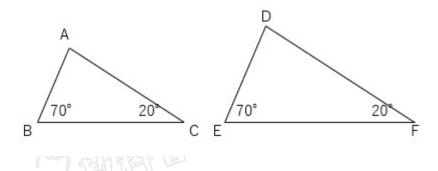
2組の角がそれぞれ等しい

3つめの条件は「2組の角がそれぞれ等しい」。

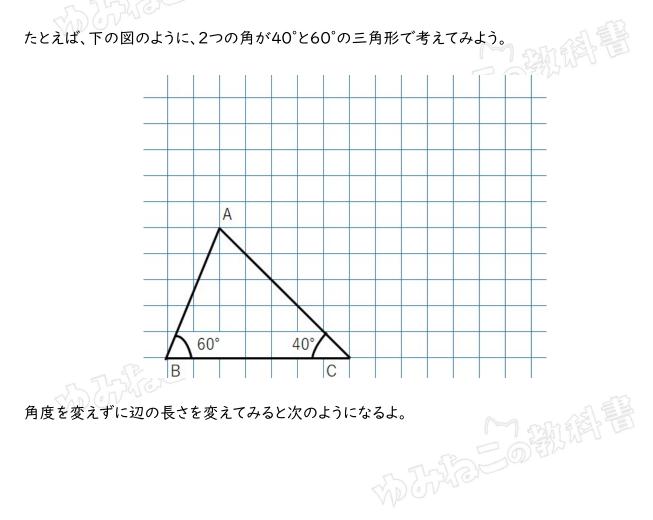
どういうことかというと、2つの三角形があったとき、その2つの三角形同士の角が2つ大きさが一 緒であれば、その2つの三角形は「相似な図形」ということができるんだ。



たとえば下の2つの三角形を見てみよう。 2つの角度(70°と20°)がそれぞれ同じで、相似になっているよ。

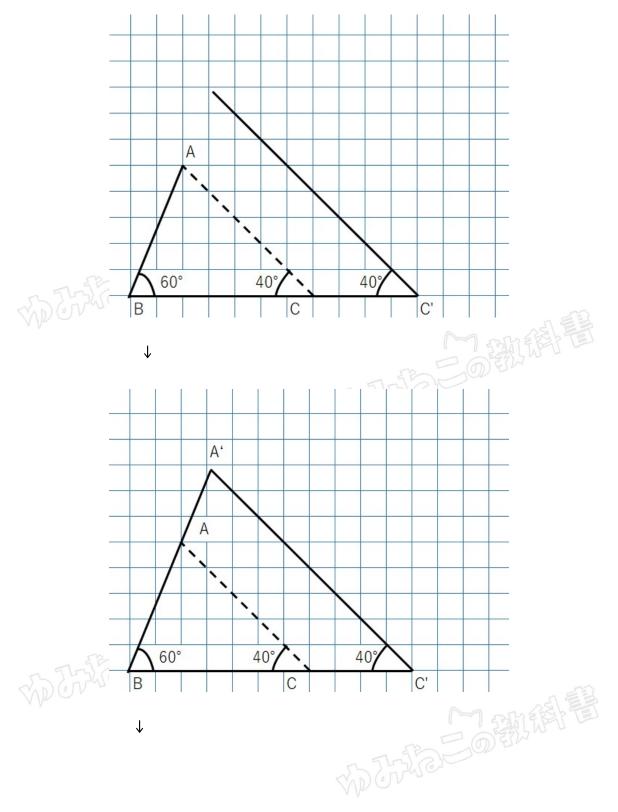


でもなぜ、2組の角の大きさが同じだと、相似といえるのだろう。

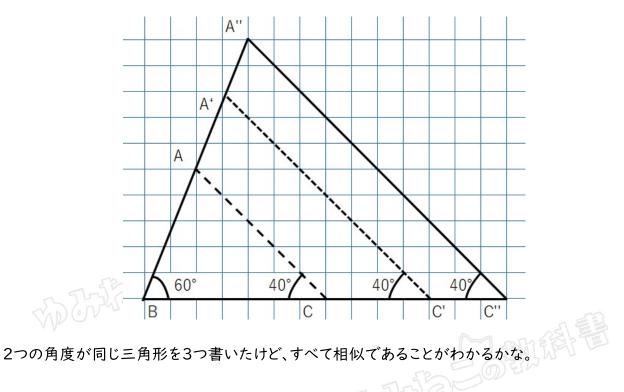










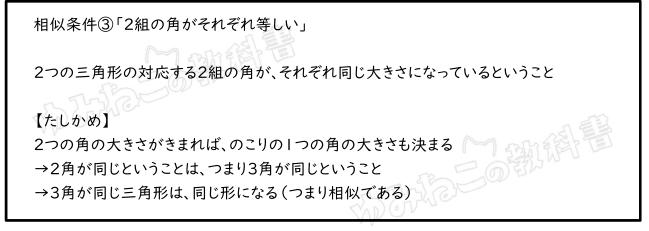


なぜならAもA'もA"も角度は

180°-(60°+40°)=80°になって

3つの角度が同じになるよね。

三角形は、3つの角度が同じであれば形が変わらないので、「相似」だといえるよ。



この「2組の角がそれぞれ等しい」という条件はよく問題になって出てくるよ。



合同条件と相似条件の違いに着目してみよう

今回学習した「相似条件」と、2年生の数学で学習した「合同条件」は、なんだかとても似ているね。

相似条件を新たに学習したことで、これらがごちゃ混ぜになってしまって、混乱してしまう子もいるかもしれないね。

ここで、「合同条件」と「相似条件」の違いをはっきりしておこう。

着目している ポイント	合同条件	相似条件
3組のOOが等しい	3組の辺がそれぞれ等しい	3組の辺の比がすべて等しい
2辺と 角に着目	2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい	2組の辺の比とその間の角がそ れぞれ等しい
2つの角に着目	組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい	2組の角がそれぞれ等しい

表にまとめてみると、合同条件と相似条件がとても似ていることがさらによく分かるね。

どちらも条件は3つ。

さらに、着目しているポイントも同じなんだ。

3組の〇〇が等しい

「合同条件」と「相似条件」どちらも、2つの三角形の、3組の「なにか」が等しいというのがポイント になっているところが同じだね。

あとは、それが合同条件の場合は「辺」で、相似条件の場合は「辺の比」となっているところが違う 部分だね。

「合同」は2つの三角形がぴったり重ならなくてはならないから、「辺」そのものが同じでなくてはいけない。

それに対して、「相似」は同じ形であればいいので、「辺の比」が同じであればいいということだね。



2辺と|角に着目

これも、「合同条件」と「相似条件」どちらも、2組の辺とその間の角に着目しているところが同じだ ね。

あとはやっぱりそれが合同条件の場合は「辺」で、相似条件の場合は「辺の比」となっているところ が違う部分だね。

2つの角に着目

この条件のポイントは、合同と相似でははっきり違うところがあるね。

それは、合同条件では2角の間の辺も等しくなくてはいけないけれど、相似条件では2角だけが同 じであれば、辺のことは気にしなくてよいというところ。

どうしてかというと、三角形は、2角が決まれば自動的に残りの1角も大きさが決まるよね。なぜな ら、内角の和は180°と決まっているからだね。

つまり、2角が同じであれば、それは「3角とも等しい」ということになるんだ。

そして、三角形は、3つの角の大きさが決まっていると、出来上がる形はたったひとつなんだよ。 つまり、3角とも等しければ、2つの三角形は同じ形になる(相似になる)というわけなんだ。

だから、相似条件の場合は、「2角が等しい」だけでOKなんだね。 的动行之间到着

相似条件の言い方について

相似条件の言い方は、これまでに説明したとおり

- ・3組の辺の比がすべて等しい
- ・2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい
- ・2組の角がそれぞれ等しい

という言い方だね。



少し長くて覚えづらいかもしれないけれど、証明問題で相似条件を使うときは、この言い方どおりに 書く必要があるので、頑張って覚えよう!

相似条件の言い方についての補足 相似条件の言い方には、以下のように別の言い方もあるよ。 ・「3組の辺の比がすべて等しい」 →三辺比相等(さんぺんひそうとう) ・「2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい」 →二辺比挟角相等(にへんひきょうかくそうとう) ・「2組の角がそれぞれ等しい」 →二角相等(にかくそうとう) けれど、これらは現在、教科書では使われていないんだ。 テストや試験などでは、この言い方で答えると減点されてしまう場合もあるとのことなので、 注意しよう。

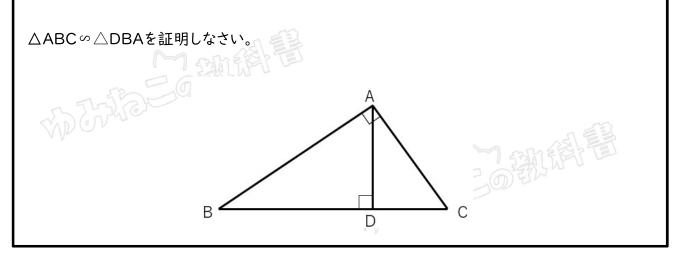
相似な三角形の証明問題に挑戦しよう

テストでは、相似条件を使って2つの三角形が相似であることを証明する問題が出ることもあるよ。 どんな問題が出てくるのか、どうやって証明をすればよいのか紹介するよ。

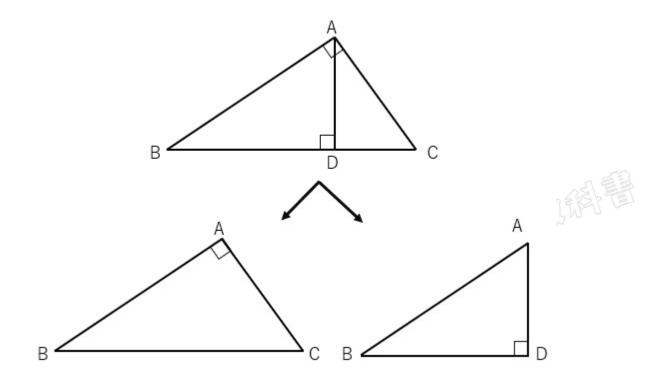


相似の証明問題日

図の△ABCは∠BAC=90°の直角三角形である。頂点Aから辺BCに垂線を下ろしその 交点をDとする。



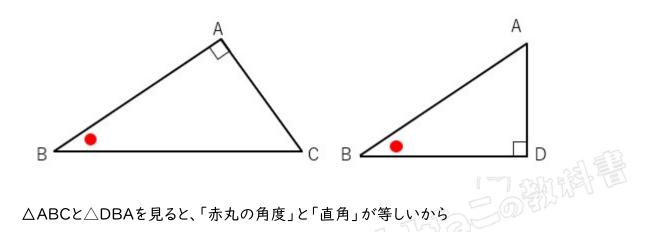
まず、三角形△ABCと△DBAに分けて考えよう。





左と右の三角形で角度が同じところがあるよね。

∠Bは2つに分ける前には重なっているから等しくなるよね。(合同で学習した「共通」)



相似条件「2組の角がそれぞれ等しい」をクリアするね。相似条件をクリアしたから2つの三角形は 相似になることがわかるね。

きちんとした文章で証明すると次のようになるよ。

 $\triangle ABC と \triangle DBA において$

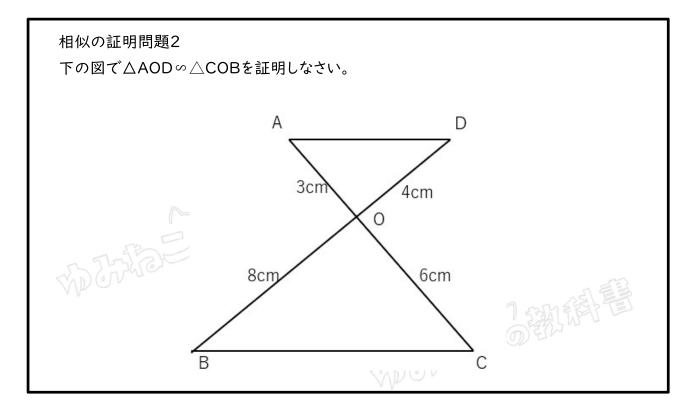
- 仮定より ∠BAC=∠BDA=90°
- 共通な角は等しいので ∠B=∠B ···② ←「∠Bは共通」でもOK

•••(1)

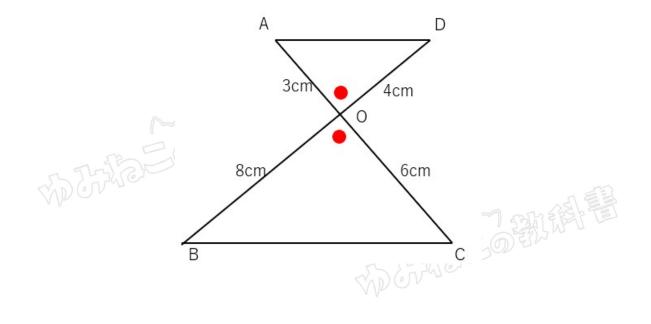
①②より、2組の角がそれぞれ等しいから

∆ABC∽∆DBA



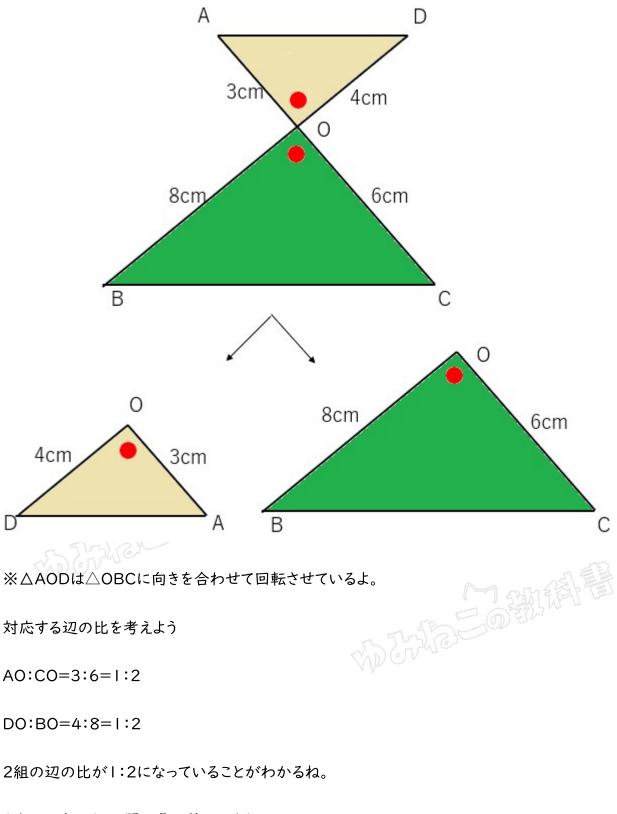


対頂角は等しいから赤丸の部分の角の大きさが等しくなるよね。





△AODと△COBを分けて考えよう。

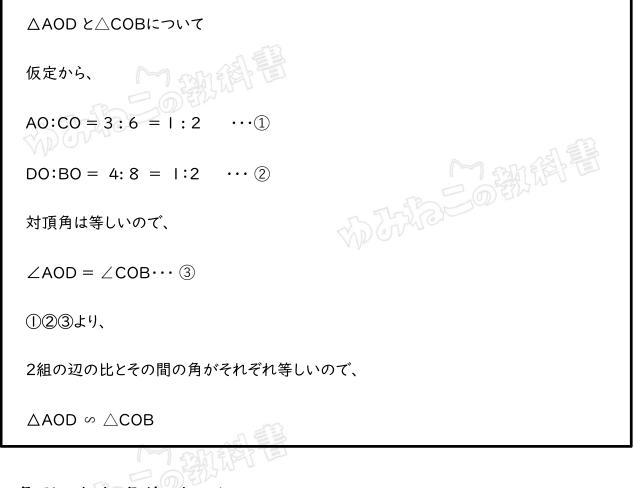


さらに、2組の辺の間の角が等しいよね。



なので、三角形の相似条件「2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい」をクリアしているので、 「相似な図形」であるということがわかるね。

きちんとした文章で証明すると次のようになるよ。



三角形の相似条件 まとめ

